

スクリーンインキ

添加剤

その他インキ用

添加剤用途 硬化性促進 接着性向上 物性向上 | 蒸発乾燥型

# JA-960 硬化剤

溶剤型インキの接着性付与、皮膜物性（耐溶剤性等）の向上剤。

## 製品の特長

- ポリイソシアネート樹脂・速硬化・難黄変タイプで、硬化が速いです。
- JA-970に次いで二番目に反応が早い硬化剤です。

## 特性

硬化性

接着性

## スペック

荷姿	性状
1kg金属缶	粘液
100g金属缶	

## 使用方法

- 指定の希釈溶剤を加え、良く攪拌してから印刷します。
- 添加量はインキ100部に対して7~20部（標準添加量10部）です。
- 可使時間は次の通りです。
  - 4~5時間（20℃）
  - 2~5時間（25℃）

## 硬化方法・硬化条件

- 硬化温度が高いほど皮膜物性は向上します。可能な範囲内で、硬化温度はなるべく高く設定して下さい。
- 最適な硬化時間は、組み合わせるインキの種類や目的とする物性により変動します。必ず事前に確認試験を行って下さい。
- 標準硬化時間は次の通りです。
  - 25℃：2~3日
  - 80℃：60分
  - 100℃：30分
  - 120℃：15分

## 注意事項

- 硬化剤は湿気により単独でも硬化します。開封後は、その日の内に使い切るようにして下さい。  
硬化剤の使用期限の目安は「製造後1年」とさせていただいていますが、これは未開封の場合です。
- 可使時間を過ぎてもしばらくは、インキは流動性があり印刷する事が可能です。  
しかし、硬化皮膜の物性や光沢は低下していますので、可使時間を過ぎたインキの使用は避けて下さい。
- 硬化剤の添加量が多くなると塗膜物性と接着性は向上しますが、隠蔽性と柔軟性は逆に低下します。
- 印刷物を屋外に出す様な用途では、JA-960を使用する事により、メジウムや白インキが若干黄変する事があります。  
これが問題となる場合には、無黄変タイプの硬化剤（JA-950、JA-940）に変更して下さい。
- 硬化促進剤JA-E11は、JA-960との組み合わせでは使用出来ません。
- ご使用に際しての安全上の注意事項に関しては、製品の安全データシート（SDS）をご参照下さい。
- 当インフォメーションに記載されている内容は予告無しに変更・改訂する場合があります。
- この特性データは、弊社の実施した評価結果に基づくもので、お客さまのご使用時の製品特性を保証するものではありません。
- 使用の際は、実際に使用される装置及び被着材での評価結果に基づき、条件を十分ご検討の上、ご使用下さい。